

平成29年第1回定例会 一般質問内容一覧

日時 平成29年3月6日（月曜日）午前9時30分～（予定） 質問順 1番から4番まで
 平成29年3月7日（火曜日）午前9時30分～ 質問順 5番から6番まで

場所 新宮町役場 3階 議場

質問順	氏名	質問事項	具体的質問内容	答弁者	備考
1番	庵原 伸一 議員	1) 増えつつある空き家等の対策は	平成26年に「空き家等対策の推進に関する特別措置法」が制定された。このことにより、全国的に増加傾向にある空き家対策として、自治体の権限が法的に位置づけられ、一定の基準を満たす空き家を「特定空き家等」に指定し、周辺の生活環境を保全するために必要な措置をとるよう助言又は指導、勧告することができることとなった。 新宮町でも年々人口が増加する一方、地域によってはこのような空き家が増えつつある状況の中、平成27年度末頃に、空き家調査を実施し、空き家総数253件、空き地総数140件であったとの報告を受けたところである。 そこで、新宮町における現状と今後の取り組みについて、次のことを伺う。 1、「特定空き家等」に該当する物件はあるのか。 2、空き家等の適正な管理を図り、生活環境を保全するための条例化の考えは。 3、空き家等を地域の活性化、人口増加策、定住化促進の手段に用いて積極的に活用するなど、前向きな対策を講じる考えはないのか。 4、町が主体となって、現状把握や管理の適正化、活用を図り、組織的に空き家等の対策に取り組むための協議会を設置する考えはないのか。	町長	
2番	上畝地 白馬 議員	1) オープンデータの公開とビッグデータの活用は	福岡市をはじめとする他市町村では、自治体が所有する人口、公共施設などの基礎的なデータを積極的にホームページなどでオープンデータとして公開し、災害時の対応や防犯、病気の予防、地域振興など、民間での二次活用促進を進めている。 本町では、コミュニティバス「マリックス」の時刻表や経路案内などのバスデータをオープンデータとして提供し、グーグルマップ上で表示するなど、マリックスの利用促進は進めているが、まだまだ、その他のオープンデータの公開や、民間活用が少ないと考える。 また、自治体が公開したオープンデータや、民間が所有している統計的なデータを組み合わせ複合的に分析したビッグデータ（事業に役立つ知見を導出するための統計的データ）を活用していく自治体が、今後増えていくと予測される中で、本町も積極的に取り組むべきだと考える。 そこで、以下のような取り組みができないか伺う。 ① AED設置場所情報や、避難場所情報など、自治体が所有しているデータを公開し、民間での活用を促し、町民サービスの向上ができないか。 ② 例えば、ビッグデータRESAS（地域経済分析システム）を利用して政策に反映できる体制を構築できないか。 ③ 専門的な統計の有識者やビッグデータの有識者、大学生など優秀な人材を外部から招き、ビッグデータをどう活用するかを検討できる場をつくれぬか。	町長	
3番	大牟田 直人 議員	1) 郷土愛を育む教育の充実について	郷土を愛し、郷土に誇りを持つことが、子どもたちの自信、将来の生きる力につながり、さらには将来の町づくりにもつながると考える。そこで、次のことについて伺う。 1、町教育行政の基本方針に「郷土を愛し」とある。郷土愛を育むためにどんな教育を行っているか。 2、町の誇れる自然環境である相島、新宮海岸には新宮中学校で訪れているが、立花山に登ったことのない児童生徒もいると聞く。総合的な学習の時間などに小中学校で立花山登山はできないか。 3、子ども達が町文化祭や砂の芸術祭、まつり新宮などの町のイベントへ参加することは郷土愛を育むと感じる。このようなイベントに中学校卒業までに全員が参加するような仕組みができないか。 4、町には歴史的に価値のあるものが多い。町の歴史について学ぶことは、郷土に誇りを持つことにつながると考えるが、現状と今後の方針について見解を伺う。	町長 教育長	
		2) 小学校での弁当の日の実施を	新宮中学校では「弁当の日」が実施されている。生きていくために大切な食の学びの場、安心して失敗できる場、挑戦や成長の場、親離れ・子離れの場として、とてもいい機会になっていると感じる。弁当の日には、通学路で会話が弾む子どもたちの姿や、昼食時にみんなで弁当を見せ合う姿が見られ、子どもたちの自信につながっていると感じる。小学校でも実施できれば、更なる子どもたちの自信につながると感じるが、実施できないか。	町長 教育長	
4番	松井 和行 議員	1) 生活道路の安全は	3月上旬に緑ヶ浜地区の交通規制が実施され、また、3月末には上府北地区に「ゾーン30」の交通規制が開始される。これを機会に歩行者にやさしい生活道路を保全・維持していく必要があり、町全体を見据えた規制を考えることが重要であると思うが、見解は。 また、危険箇所に対応する安全対策は随時実施することが重要であると思うが、町内の事故多発箇所の把握をされているのか、されている場合はその安全対策を伺う。	町長	
		2) 公園での子ども達の安全対策は	今年に入り、東京都江戸川区の区立公園や大阪市の公園において、遊具で遊ぶ子どもの重大事故が相次いで発生している。また、町や近隣市町では不審者の目撃情報もたびたび耳にする。町では沖田中央公園や人丸公園などで、多くの子ども達が遊んでおり、また、今後ふれあいの丘公園、今池公園、新宮浜中央公園などの整備も予定されているが、子ども達が安心して遊べる公園として安全が確保されているのか現状を伺う。 また、これからより良い公園を造るためにも事件や事故を未然に防ぐための検証や対策が必要だと思いが考えを伺う。	町長	
5番	矢山 尚司 議員	1) 立花山文化遺産を活用して東部観光事業の振興を	新宮町にゆかりの深い戦国武将として、立花山城城督（城主）であった戸次道雪（立花道雪）、立花闇千代（きん千代）、立花宗茂の名が挙げられる。豊臣秀吉に「鎮西一の勇将」と称えられた宗茂は、その後、柳川藩初代藩主となり、広く柳川市民に親しまれている。 一方で、立花山の英雄である道雪並びに「おんな城主」闇千代に関しては、新宮町民にすらあまり知見されていない。 そこで、立花山城及びこれらの歴史上の人物を町内外に知らしめるプロジェクトを立ち上げ、それに連動し立花山周辺の古民家や地産物品などの利用を促進し、地域の発展を図ることに町として取り組むことは可能か町長に伺う。	町長	
6番	安武 寛憲 議員	1) 高齢化が進む地域への移住者募集計画及び健康で住みよい町づくりを	新宮町は魅力的な町として、様々なイベントが人気を博し、福岡市や近隣の市町からの参加者が増えている。町が活気にあふれている一方で高齢化が進む地域では、空き家が増加し、高齢者は自宅に引きこもりがちになっている。 高齢化地域の活性化のために次のことできないか伺う。 ① 移住者募集計画の推進の一つとして、高齢で施設に入所するために土地や家屋を売却したい方や逆に所有する空き家を賃貸したい方にあらかじめ登録してもらい、定住希望者に情報提供を行いマッチングさせることで、地域に根付いてもらうようなことはできないか。 ② 高齢者が自宅に引きこもりがちになるのを防ぐため、コミュニティバスで身軽に通える場所に町営の貸農園や、各地域にウォーキング・ジョギングができるコースの整備ができないか。	町長	

※質問事項、具体的質問内容については、原文のまま記載しています。 議会事務局

※役場、シーオーレ新宮、そびあしんぐらにおいて、議会中継を行っています。ぜひ一度ご覧ください。
 ※お手元のパソコンから新宮町議会にアクセスしてください。議会中継・録画配信を行っています。ぜひご覧ください。
 ※議場での傍聴希望の方は、当日午前9時から受付を行いますので、**役場議会事務局**へお問い合わせください。
 ※詳しくは、役場議会事務局 TEL 963-1737（直通）までお問い合わせください。

議会の傍聴にお越しく下さい。